

**津波渦巻く体育馆
着衣泳が救った命**

東日本大震災 野蒜小学校体育馆での出来事から

水難学会統括指導員 安倍 淳

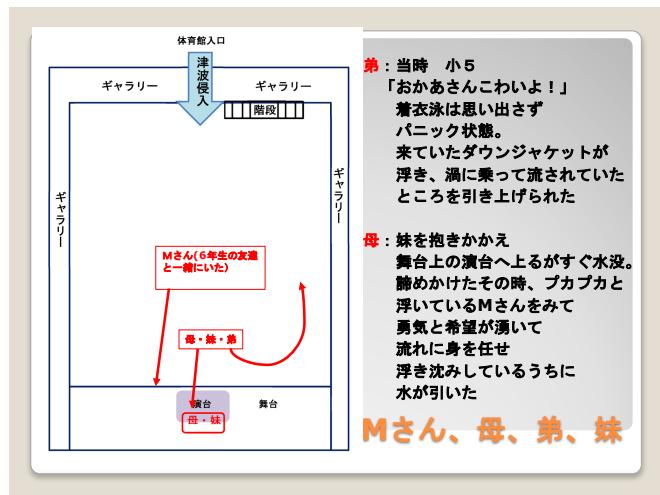
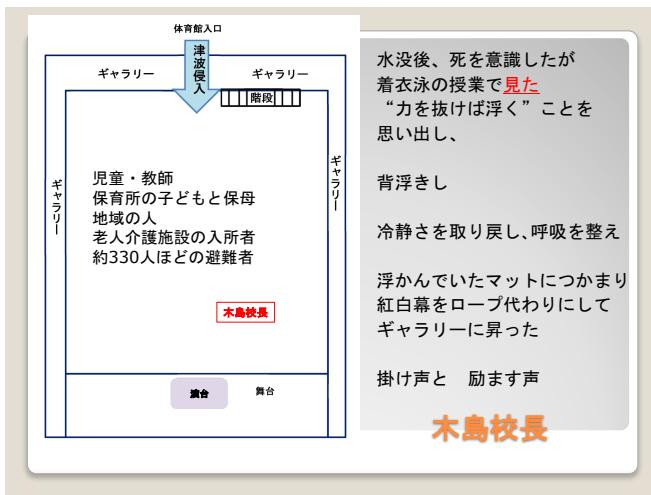
- 2004年から震災前まで7年間実施
- 2004.2005年は9月に 2006年から7月実施
- 1時限(45分)ずつ全学年を2日間にわたり実施
- 各学年ごとの「到達目標」を決めて実施
- 2005年から雨天荒天低温時は、中止せず体育馆で室内授業として実施
- 2006年からは室内授業の終わりに、プールで指導員による浮いて待つデモンストレーション

野蒜小 着衣泳授業のあらまし

2006年発表

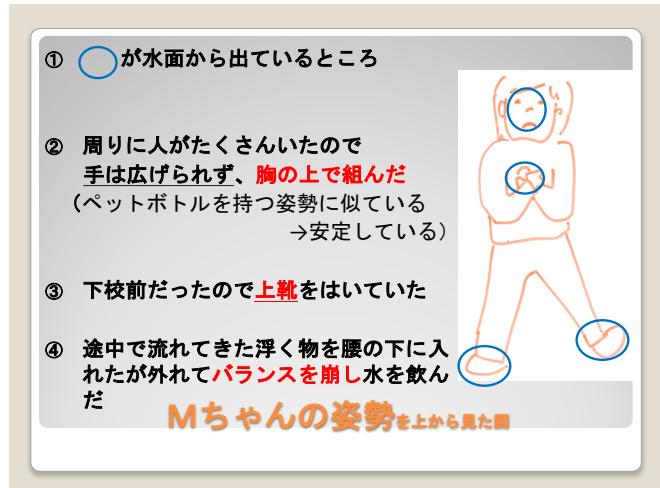
2007年発表





・着衣泳は年に一度習うから**自然と思い出した**。
・津波が迫ってくるのが見えたが、**怖い**というより“まあ**仕方がないから着衣泳でもするか**”
・こんな状況だったら「**着衣泳しかないだろう**」
・**助かった子がいると聞いていた**から、自分もできると思った。
・おかあさんに名前を呼ばれたけど、**肺の空気が抜けるから返事は一回！**

**「ういてまで」で助かった
Mちゃん 小6**



Mちゃん（当時小6）
・Mちゃんは“信じやすい”性格
・着衣泳をやって助かった子がいると授業で聞いていたから、きっとわたしも助かる

弟（当時小5）
・パニック状態
・ぜんぜん着衣泳を思い出さなかった
・ダウンジャケットを着ていたから浮いて助かった

妹（当時小1）
・その時のことは覚えていない
・着衣泳は室内授業1度のみ





背浮きができるか？ ← NO !

とつさのとき
背浮きを思い出せるか？ ← わからない…

パニックを起こさないことが
もつとも大切！

とつさのとき冷静に行動するためには

- ①毎年継続して実施してすりこみ
(Mさんは6年間のうちプールで行った着衣泳授業は2回のみ)
- ②実際の落水・水害・津波などを想定して訓練する

成功事例の自信

助かった子がいる
自分もできる

まとめ



<授業のめあてと到達目標>

- 第1学年 めあて：水慣れ
到達目標<浮き具をもって背浮きができる>
- 第2学年 めあて：水慣れ
到達目標<浮き具をもって背浮きが3分間できる>
- 第3学年 到達目標<背浮きが3分間できる>
- 第4学年 到達目標<順下入水～背浮き～移動ができる>
- 第5学年 到達目標
<順下入水～背浮き
～移動ができる・バイスタンダーの役割を理解できる>
- 第6学年 到達目標
<順下入水～背浮き
～移動ができる・救命できるバイスタンダーになる>